



鈴木 陽人^{はると}くん
「ごはん大好き」
(上町)



富田陽麻莉^{ひまり}ちゃん
「おてんば娘! あんたが大将!」
(蔭田)



尾崎 勇仁^{ゆうと}くん
「外遊び大好き!」
(大野原)



関田 詩^{うた}ちゃん
「にいにたちと遊ぶの
大好き!」
(上影森)



応募方法

1～1歳半程度の市内在住のお子さんの写真を同封し、住所・保護者の氏名・電話番号・お子さんの氏名(ふりがな)・性別・生年月日・コメントを明記の上、秘書広報課までご応募ください。(メールの場合は、件名に「わが家のアイドル」、本文に必要事項を入力し、500KB以上の画像を添付の上、hisyo@city.chichibu.lg.jp まで) 抽選に漏れた方も、2歳になる月まで再抽選します。
※携帯電話のカメラで撮影する場合は、サイズを2M(1080×1920)以上に設定してください。

夢をかなえる 未来にはばたく

秩父地域の高校

主権者教育講演会で選挙を身近に
(秩父高校)



公職選挙の選挙権年齢が18歳に引き下げられたこともあり、1・2年生を対象とした主権者教育講演会が行われました。市の選挙管理委員会が、実際に使用している投票箱や票数をカウントする機械を見せながら、主権者としての心構えや選挙の仕組み、投票のシステムなどを説明しました。

講演会には、「自分には関係ない」「よくわからない」と考えていた生徒もいたようですが、講演後には、「自分にとって選挙はまだまだ先で、大人のためのもののような気がしますが、2年後には投票するのだと思うと、不安もあります。しかし、今日お話を聞いたことで、自分にとって選挙がほんの少し近づいたような気がしました。」(1年)、「今年18歳になるので、政治について考えて投票できるようにしたいです。選挙権が与えられる前に知ることができて良かったと思いました。」(2年)という感想が寄せられ、今回の講演会で多くのことを学ぶことができました。



市民文芸

短歌

冷ゆる夜に虚空蔵さまにお参り後湯布院の香の風呂に足らひぬ
意に添わぬひとの存在聞きし日は紅強く引きおのれ保ちぬ
成人式振袖の娘の車発つ本降りとなる雪の中へと
途中から八十路となるは確かなる三年日記を埋め尽くしたし
根を張って北風受ける親株と新しき芽の菊を見守る
久々に逢わむと思いたいやきを買いに行きしに此の世には居ず
見なれたる傷の武甲嶺しろじろと雪の砦のごとくきらめく
亡き夫が植えて逝きたる福寿草咲き広がりに庭しずかなり
石投げて水の輪広がるその中に君の笑顔が歪んで消ゆ
山中の老人ホームに世話になりタオルたたみに日々をいそしむ

(評) 小泉さん、冷えた身体を温める結句が良いです。渡辺さん、微妙な心情が過不足なく表現されています。福島さん、娘さんと思う親心がすてきです。齋藤さん、八十路とは八十歳のこと。これからですね。江原さん、明るさを感じます。浜田さん、無常の思いがひしひしと伝わってきます。内田さん、「雪の砦」は、厳しく説得力のある表現です。身を削って尽くす。ふと、夕鶴の物語が思い浮かんできました。友田さん、結句が素晴らしい。福田さん、感覚の鋭さを感じます。浅見さん、下の句が具体的に詠われており、人柄の良さが伝わってきます。

綾部 光芳 選

番場町 小泉富美子
宮側町 渡辺 勝美
久那 福島 昭子
吉田久長 齋藤 大仙
大畑町 江原 初恵
東町 浜田のん子
中町 内田 定男
阿保町 友田ミサヲ
道生町 福田 みつ
荒川賢川 浅見 保臣

※次回4月号は俳句を掲載します

短歌、俳句の応募は、住所・お名前(ふりがな)を明記の上、必ず官製はがきで秘書広報課までお送りください。1通に2首または2句まで、各1通までです。

短歌 3月末締切→5月号に掲載
俳句 4月末締切→6月号に掲載